

小出小学校の特色（元年度版）



1 教育理念（スローガン）

地域と共に育つ、輝く小出の子



小出小のシンボル…むくろじの木

小出小学校の学校環境と地域の環境は、子どもを育むためには、とても素晴らしいといえます。また、小出地区（地区推進協）においては、子どもたちが健やかに成長するように「小出子どもの街宣言」が作られています。学校は、その理念も取り入れながら、地域に開かれた学校を実践しています。そして、小出小学校の子どもたちを、未来を見据えて、明るく、冷静に、しっかり生きていくことができる人間として育てたいと考えています。

2 学校教育目標

【心身ともに調和のとれた人間になるために】

◎しっかり学ぶ子 ◎助け合う子 ◎進んで働く子 ◎健康で元気な子

- ①「しっかり学ぶ子」とは、自分で考え、正しく判断して、問題解決に対処できる子
- ②「助け合う子」とは、自尊感情（自己肯定感）があり、友だちをはじめとする他の人の立場や気持ちを大切にできる子
- ③「進んで働く子」とは、与えられた仕事や役割を実行するだけでなく、集団生活の中で自己の課題を見つけ、協力して活動ができる子
- ④「健康で元気な子」とは、基本的な生活習慣を身につけ、健康的な生活をおくり、元気に過ごすことができる子

3 私たちの求める学校

①地域に学ぶ学校

小出小学校の学区には、茅ヶ崎市の他の地域にはない様々な歴史・文化・自然が豊富にあります。そのような地域の特性を活かして、自然や歴史などを体験的に学ぶ活動をたくさん取り入れています。そのために、地域の教育力をお借りしながら、小出地区の学校としての存在意義を強めていきたいと考えています。



教室からの風景

②自然あふれる学校

小出小学校には、素晴らしい自然があります。敷地にゆとりがあり、以前、保護者・地域の方々が整地したといわれているグラウンド以外にも活動する場所がたくさんあります。地域と一体化した恵まれた自然の中で、爽やかな風を受けながら、ゆったりとした気持ちで学習できます。各学年2クラス、全校児童356名の小規模の学校ならではの特色を生かし、子どもたちが本来もっている豊かな心や可能性を引き出していきます。



豊かな自然

4 具体的な実践

◎地域に根ざした教育の実践

- ・里山公園の畑を利用した里山学校（2年）【28年度より】
- ・湘南ひょうたん会の指導でひょうたんの植え付け、育成、作品づくり（3年）
- ・年間11回の元本校教諭による学区探検（3年）
- ・小出小田んぼ支援隊（地域の農家の方々等）の支援で米づくり（4年）
- ・小出コミセンの協力での「二分の一成人式」（4年）
- ・景観みどり課とのコラボ事業で小出のシンボルマークづくり（5年）
- ・茅ヶ崎市社会教育課とのコラボ授業「下寺尾廃寺・下寺尾官衙遺跡群」（6年）
- ・その他、北陽中学校・北陵高校・文教大学など地域の関係機関との交流活動の推進



里山学校（2年）



ひょうたんの植え付け（3年）



学区探検（3年）



田植え（4年）



二分の一成人式（4年）



社会教育課コラボ授業（6年）

◎異年齢集団活動の取り組み

- ・茅ヶ崎市の約1/5を占める学区
→安全確保のため、登校班による毎日の集団登校
- ・小出フェスティバル（11月28日）たてわり活動
（12回/年）1クラスを7つに縦割りした異年齢グループによる集会
- ・市内第2位の広いグラウンドで、休み時間等での異年齢交流
- ・夏に「たなばた給食」秋に「どんぐり給食」と称して、屋外で異年齢（たてわり）グループによるお弁当スタイルの給食



全校マラソン大会

◎健康安全教育の推進

- ・健康保健教育の実践（給食前の「手洗いの歌」放送など）
- ・全校マラソン大会（里山公園内で12月6日に実施予定）



縦割り活動・たなばた給食

◎分かる授業、楽しい授業を目ざして

- ・算数のTT（少人数）指導の充実（3・4・5年）
- ・個別支援学習指導（ぐんぐんタイム）…保護者の承諾を得て担当教員が別室で指導